

役立つ!

滋賀県の中小企業のための広報誌

滋賀でチャレンジ続ける
中小企業の皆さまに
読んで楽しく、身近で役に立つ
情報をお届けします。



UCHI KODUCHI

Uchide no
Koduchi

Vol.
74

令和5年10月発行

WE ♥
SHIGA

トピックス&インフォメーション①

- 2P 理事長就任のご挨拶
Go-Techで新技術開発にチャレンジしませんか?
- 3P 滋賀県よろず支援拠点「長浜サテライト」開設!
中学校・高等学校等の起業家教育への協力

元気企業訪問

- 4P ワボウ電子株式会社
- 6P 株式会社ISS山崎機械
- 8P 株式会社粹屋やす井

起業家魂

- 10P 未来プロデュース株式会社

プラザセミナー

- 12P IPOとは?

しがのミカタ

- 14P 国立大学法人滋賀医科大学

トピックス&インフォメーション②

- 16P しが産業生産性向上経営改善センターの取組
イベント&セミナー案内



公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

表紙写真: 湖東三山 西明寺(池寺)
写真提供: (公社)ひびこビジターズビューロー

滋賀県よろず支援拠点「長浜サテライト」開設！

県・北部エリアの事業者のあらゆる経営課題を解決する力強い味方
何度利用しても相談は無料！長浜ビジネスサポート協議会内に設置

滋賀県よろず支援拠点とは

中小企業・小規模事業者の経営上のあらゆる相談に応えるために、国が設置した無料の経営相談所です。拠点には、多様な分野に精通した専門家が在籍し、事業者の声に親身に耳を傾け、抱えている悩みの本質的な課題を明確化するとともに、適切な解決策を提案します。さらに、解決策の提示にとどまらず、成果が出るまで寄り添いフォローアップします。

名 称	滋賀県よろず支援拠点 長浜サテライト
場 所	〒526-0037 滋賀県長浜市高田町 12-34 長浜ビジネスサポート協議会内
電 話	0749-63-7333
開設日	週 1 日（土日祝を除く） 10 時～17 時 ※開設日は、滋賀県よろず支援拠点のホームページをご覧ください。
業 務	県内中小企業者からの経営等に関する「あらゆる相談」
運 営	滋賀県よろず支援拠点 実施機関：公益財団法人滋賀県産業支援プラザ



左：滋賀県産業支援プラザ 大道理事長（当時）
右：長浜ビジネスサポート協議会 大塚会長

問い合わせ先 滋賀県よろず支援拠点 ☎ 077-511-1425 ✉ yorozu@shigaplaza.or.jp

〈理事長就任のご挨拶〉

令和5年10月1日に滋賀県産業支援プラザの理事長に就任致しました高橋祥二郎でございます。何卒宜しくお願い申し上げます。

当プラザは地元産業の発展を支援するため、「がんばる企業を応援します！」を合言葉に事業者の皆様が抱える様々な経営課題にしっかりと向き合い、相談対応や専門家派遣等の経営支援を行っています。

具体的にはビジネスマッチング（商談会）等の販路開拓支援や産学官金連携による新技術・新製品・新サービスの開発支援、そして事業立ち上げまでをサポートする創業支援等を行っています。また一方で社会的課題であるCO₂ネットゼロへの取組支援や各種セミナー等の情報提供等県内全域を対象地域として広範囲且つ多面的な支援に取り組んでおります。

さて現下の状況に目を向けますと、原材料高、円安、人手不足等により地元中小企業を取り巻く経営環境は大変厳しい状況が続いております。これまで以上にプラザが果たす役割、皆様からの期待は大きいものがあると考えています。プラザが強みとする「産学官金のネットワーク」と「多種多様な経歴を有する相談員や専門家等」のフル活用等中小企業の皆様にしっかりと寄り添い、企業の元気を生み出す支援拠点として信頼される組織を目指し、役職員一同一丸となって業務に取り組んで参ります。

今後ともプラザの活動に対しまして皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますとともに、積極的にご活用頂きます様お願い申し上げます。



理事長 高橋 祥二郎
たかはし しょうじろう

中学校・高等学校等の起業家教育への協力

起業家マインドを持つ人材育成
～滋賀県教育委員会、大津商業高等学校、水口東中学校・高等学校で実施～

産業支援プラザが起業家教育に取り組む理由

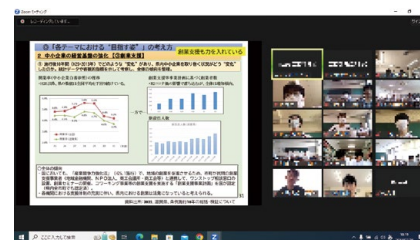
地域の担い手となる新しい企業の育成と、日本経済を牽引する新しい産業の創出のためには、起業家マインドを持った人材を育成することが重要です。そこで産業支援プラザでは、中学校や高等学校などからの要請に応じて、起業家教育への協力を行っています。



大津商業高等学校での授業



水口東中学校・高等学校での講演会



滋賀県教育委員会
しがアントレプレナー育成プログラムの講師

滋賀県産業支援プラザは、滋賀県学習情報提供システム「学校支援メニュー」に登録し、起業家教育に協力しています。

<滋賀県学習情報提供システム>
<https://www.nionet.jp/>

問い合わせ先 経営支援部 創業支援課 ☎ 077-511-1412 ✉ in@shigaplaza.or.jp

Go-Tech で新技術開発にチャレンジしませんか？

Go-Tech（ゴータック / 成長型中小企業等研究開発支援事業）とは

中小企業等のものづくり基盤技術やサービスの高度化のための支援を行う経済産業省の補助事業です。大学や公設の試験研究機関等と連携し、滋賀発の先端技術で新事業創出にチャレンジしませんか。まずはお気軽に産業支援プラザまでご相談ください。

企業のメリット

- 3年間で上限**9,750万円**の補助を受けられます
研究開発に必要な機械設備の導入や試作開発に要する経費の補助を受けることができます。
- 新たなネットワークの構築
大学や公設の試験研究機関等と共同体を構成することで、技術開発に関した新たな人的ネットワークが広がります。
- 人材の育成
プロジェクト推進にかかる様々な経験を通じて、関わるメンバーの成長やモチベーション向上が期待できます。

プラザによる支援

- 共同体の体制づくりをサポートします。
- 提案内容のブラッシュアップをお手伝いします。
- 申請書の作成をサポートします。
- 国への申請手続きを行います。
- 採択後の事案管理や報告書の作成をサポートします。
- 事業終了後も引き続きフォローアップを行います。

産業支援プラザは、令和3年度に **全国 1 位** (6/60件) の採択件数を獲得しています！



問い合わせ先 連携推進部 イノベーション推進課 ☎ 077-511-1414 ✉ ino@shigaplaza.or.jp

元気企業 訪問

ワボウ電子 株式会社

代表取締役社長

月ヶ瀬 義雄さん

つきがせよしお



本社工場クリーンルーム



会社の沿革と主力事業は？

1941年、紡績・繊維メーカーの「日本和紡糸製品株式会社」として創業しました。やがて1960年代に入ると繊維業界に不況の影が覆い始め、弊社も例に漏れず苦難に喘いでいたとき、国内大手半導体メーカーから半導体ダイオードの製造を持ちかけられ、ダイオードの組立を開始しました。1969年に「ワボウ電子株式会社」と改称し、電子機器業界へのスタートを切りました。

その後、大型電子計算機の組立やノートPCメイン基板の設計、実装を開始し、現在は各種プリント基板製品の製造・販売、

卓越した品質管理技術と製造技術が高評価。 大手電気・電子機器メーカーから指名発注 が殺到

「人のため、世のため」という想いで、時代の潮流に乗りながら人や社会の役に立つ事業に挑戦してきたワボウ電子株式会社。創業時は繊維事業を通じて快適な暮らしを届け、時を経てプリント基板や半導体の製造、ソーラー発電システムの開発に進出し便利で豊かな社会づくりに貢献。そして「おうみ海老」の陸上養殖・販売という新たな挑戦で人生100年時代の食や健康を支えようとしている。

太陽光発電セルの販売・施工、電子部品の製造などを主力事業として活動しています。また新規事業としてバナメイエビの陸上養殖に取り組んでいます。

お客さまから評価されている点、強みは？

品質と原価と納期を追求して世界一の品質を実現している点が評価されているのだと思います。弊社は様々な電子部品などの製造を行ってきました。そこで培われたものは、徹底した品質管理技術のもとで高い精度と品質を保ちながら量産を可能にする製造技術です。この点は他社の追従を許さないものと自負



浅井工場

しています。

長浜市内に本社工場、浅井工場、加納工場・西上坂工場、そして中国の蘇州工場（和紡電子有 limitations）を有しています。本社工場では、特定の顧客に対応する「NPI（New Product Introduction）セクター」でフリップチップ実装等の高密度実装技術が必要とする設計、試作ならびに小ロット生産を行っています。また、中ロット量産と組立・検査業務、光通信用の中継器の部品、LEDの部品など多種多様なアイテムを製造しています。同セクターは、弊社の技術力を示す象徴的存在で、ここで検証された技術は量産化

エビ」の陸上養殖事業をスタートさせました。

「エビは天然ものと養殖もの、どちらが良いですか？」と質問すると、大半の方が「天然もの」と答えられると思いますが、食の安全・安心の面からいえば必ずしもそうとは言えません。今の地球上にはさまざまな汚染物質が存在しています。海もしく、そこで我々が考えたのが、これまで培った、徹底した品質管理技術で完全にコントロールされた人工海水を作り、そこでエビを養殖するという方法です。伊吹山系の深層帯から湧き出る水に、2億年前の地層から抽出したフランス産岩塩を混

ぜた人工海水を作り、水槽の水を循環させて水質を良好に保ち、薬品を一切投与しない安全性の高い環境下でエビを養殖します。養殖時にでた窒素分を海ぶどうの栽培に使用してきれいな水に戻し、エビの養殖に再利用するというサステイナブルな方法で育ったエビは「おうみ海老」と名付け、県内はもとより首都圏へも出荷しています。

養殖事業で県や産業支援プラザから受けた支援は？

県の令和4年度「**滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金**」で「バナメイエビ養殖水槽の可視化技術開発」が採択され、水質浄化を行う企業とのマッチングで水槽の水の濁りを抑制する装置を開発しています。また、養殖エビの販路開拓やブランディングを行う専門

おうみ海老



海ぶどう

最後に社長の経営ポリシーは？

「おかげさま」です。お客さまはもろろん、社員や役員に「皆さんのおかげでここまで来させていただいた」という思いを常に忘れずにいます。そして父親の教えですが、「お前が経営する会社はお前以上にはならない。だからお前が今以上に大きく立派になれ」です。一人では何もで

きませんが、「おかげさま」という謙虚な気持ちを常に持つていれば、必ず多くの人が周りに集まり助けてくれ、それによって弊社が今以上に大きくなれるのだと思っています。

<PROFILE>

ワボウ電子株式会社

■代表者／代表取締役社長 月ヶ瀬 義雄

■従業員／591名(2023年4月現在 中国工場除く)

■所在地／滋賀県長浜市平方町730(本社工場(NPIセンター))

■創業／1941年

■事業内容／プリント基板製造、太陽光発電セル加工、電子部品製造、精密機械設計・製作および販売、エビの陸上養殖・販売

■TEL／0749-63-5100

■URL／<http://www.wabo.co.jp> <https://www.oumiebi.jp/>



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション課

☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

✉ ino@shigaplaza.or.jp

滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点

☎ 077-511-1419 ☎ 077-511-1429

✉ s-pro@shigaplaza.or.jp

※1 滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金
中小企業等の技術開発を促進し、製品の高付加価値化、新分野への進出、新産業の創造等に資する調査研究・研究開発・試作開発の経費の一部を補助する事業

※2 プロフェッショナル人材戦略拠点
プロフェッショナル人材の活用による企業の経営革新の実施を促すことで、中小企業者や小規模事業者の経営向上の取組を支援する拠点

※3 企業のDX推進補助金
企業内業務を熟知する社員を、DXを継続して推進できる「社内DX人材」に育成・強化するため、IoT機器やAIソフトウェア等の導入補助と合わせて人材育成にも補助を行う事業



所狭しと陳列された鍛造製品



明石海峡大橋

—顧客から評価されている点は？
 金属製品は鍛造することで強くなり。たとえば以前は鋳造品だった部品を鍛造品に替えれば頑丈になります。先述したように、省エネ最適化診断をしてい

—産業支援、プラザとの関わりは？
 省エネ等伴走支援事業に申請し、省エネ最適化診断をしてい



<PROFILE>
 株式会社ISS山崎機械
 ■代表者／代表取締役 井上 寿一
 ■従業員／215名(2023年8月末現在)
 ■所在地／滋賀県湖南市日枝町3-2(本社工場)
 ■創 業／1946年
 ■事業内容／型打鍛造品の製造、機械加工品の製造
 ■T E L／0748-75-1187
 ■U R L／https://www.yamazaki-kikai.co.jp

問い合わせ先
 (公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室
 ☎ 077-511-1424 ☎ 077-511-1418 ✉ co2@shigaplaza.or.jp

の常識を打ち破る品質の製品を生産しています。
 —たとえば、どんな製品？
 型打鍛造業界市場はだいたい年間5000億円規模で、うち8割は自動車関連です。しかし我々は、自動車部品は一切つくらないと早くから決めました。他社がつくらないものをつくる、これが山崎の戦略です。生産品は多岐にわたりますが、大きなものでは船舶部品や橋梁部品ですね。
 大型クルーズ船やタンカーなどの船舶部品は勝手につくって売れることはできません。認定資格が必要で、我々は各国の船級

協会から認定資格を取っています。例を挙げると英国ロイド船級協会から1975年、日本海事協会から1986年に取得しています。
 明石海峡大橋はご存じでしょう。ハンガーソケットといって、あの吊り橋を吊るためのケーブルに我々の鍛造製品が採用されています。全部で1680本、ずらりと使われているので橋を通るときはぜひ見てください。



検査室

ただきました。本社工場は一枚ですが太陽光発電パネルを設置しています。従来から省エネ意識は高く持ち、取り組んできましたが、第三者の目から見た省エネの効果を確認してもらいたかったのです。省エネルギーセンターの専門家による省エネ最適化診断報告書を受け取れるのですが、これが非常に詳しく、効果や問題点をはっきり可視化してくれるものでした。省エネって何をどうしたらいいのか、と思っているすべての製造業の会社におすすしめします。
 山崎の結果はA判定でした。改善点はあるものの、それらは従来から継続して取り組んできたことや、機械の炉の更新など設備投資に関わることなので、今すぐというより今後の長期計画に組み入れていく話になります。

※ 省エネ等伴走支援事業(省エネ最適化診断)
 専門家が訪問し、事業所全体のエネルギー使用状況を調査・分析し、省エネ、再エネ設備の導入を助言・提案する事業

元気企業訪問

株式会社ISS山崎機械

常務取締役工場長

青木 隆宜さん

あ お き た か よ し

—会社の沿革と事業内容は？
 1946年、山崎機械製作所として始まりました。当初は大阪で機械製造を始め、1953年に鍛造業を開始。湖南工業団地に滋賀工場を建設したのが1969年。その3年後には大阪工場を滋賀に全面移転させました。移転後、業績が下降していたところ、1978年に井上特殊鋼株式会社と資本提携を結びます。以来右肩上がりに転じ、現在に至ります。

—そもそも、鍛造とは？
 文字どおり「鍛えて造る」製法です。「しばしも休まず槌打つ響き」で始まる「村のかじや」

—「元気企業」の秘訣は？
 製造現場で働くスタッフ

セールストークは「それ、鍛造化しませんか！」
 「鍛造と機械加工のベストミックス」を合言葉に
 前進し続ける業界のフロントランナー

湖南工業団地の広い空にエアスタンプハンマーの音が鳴り響く。特殊鋼の鍛造では業界随一といえる技術力を誇り、重工業の工場ながら「社員が明るく元気」「誰も辞めない」と業界のみならず近隣からも大きな信頼を得ている株式会社ISS山崎機械。鍛造の常識をはるかに超える品質を誇り、充実した機械加工設備で顧客の要求をも超え、満足を勝ち取る。長年の蓄積と、しなやかで強い鋼のよ



自社最大の8tエアスタンプハンマー

元気企業 訪問

株式会社 粹屋やす井

代表取締役

上田 健一郎さん

うえだ けんいちろう



「宿泊客、利用客から評価されている点は？」

料亭旅館としての伝統を守り続けており、料理のクオリティは極上です。お客さまの評価はおかげさまで上々ですが、9割が料理を褒めてくださっています。当館の厨房スタッフは料理長以下第一級の腕をもつ料理人たちで、料理はもちろん、器やしつらいにも工夫を凝らしています。料理の演出に添える草花も料理人たちが自ら山野を歩いて採集してきます。各部屋から望める庭園のふだんの手入れをしているのも料理長です。ひとつひとつの仕事に真心を込めており、それが確実にお客さまに伝わっていると自負しています。

外国からのお客さまが増えましたが、以前から国内のお客さまの嗜好も「布団よりベッド」になっており、「伝統ある純和風の宿ながらベッドを導入した部屋を増やしました。違和感のないインテリアデザインで喜ばれています。」

「産業支援プラザとの関わりは？」

「やす井」の事業承継にあたって、飲食業なら心得のある私も



伝統の風格を感じさせる客室



純和風の客室にベッドを導入

新たに展開する近江牛の鉄板焼きコーナー

不況にもコロナにも負けず 風格ある明治創業の料亭旅館を 内外の多彩な顧客が満足する 極上の宿に

階上からは国宝・彦根城を望むことができ、琵琶湖にもほど近い料亭旅館やす井。明治2年創業、城下町でもはや唯一となった老舗は彦根市民の誇り。彦根発祥の「近江牛」を中心に、すっぽんや鴨、小鮎など旬の食材を贅沢に使った会席料理が自慢の伝統ある料亭旅館を上田氏が事業承継。人々の嗜好の変化や経済不況、そしてコロナ禍と、続く困難に立ち向かいながら、いっそう愛される宿へと倦まず弛まず創意工夫を続けている。

「やす井」の歴史と事業承継のいきさつは？」

「やす井」の「井」は井伊家から賜ったと聞いています。そうした由緒ある家柄の「やす井」が料亭旅館を創業したのが明治2年。以来、料亭旅館のスタイルを崩さず営業してきました。私の父も叔父もこの「やす井」で結婚式を挙げ、披露宴も執り行いました。当時はそれが彦根市民のステータスだったのでね。幼い頃から幾度も話を聞かれました。彦根市にはかつて

このような料亭旅館がいくつもあったようですが、現在は「やす井」だけになっています。

非常に風格ある建築と庭園が素晴らしい「やす井」は、絶品の料理もいただけるとあって、現在もなお、記念の祝賀会や法事、同窓会などさまざまな食事に使われています。

私は「やす井」の創業家出身ではありません。株式会社千成亭風土という食肉及び食肉加工品の製造販売・飲食店事業を営む中で、いずれ料理を楽しめる

宿泊施設を開業したいと考えていたところ、従来からお取引があった「やす井」を承継するお話をいただきました。熟考の末、決断し、2019年10月に正式に事業承継しました。

「近江牛のルーツは？」

近江牛のルーツは彦根です。江戸時代に公式に牛の屠殺を認めた藩が唯一、彦根藩なのです。武具や陣太鼓といった戦の道具に牛革が有用なため、譜代筆頭の井伊家の認可を得たという歴

まの要望があります。それらに快く応え、観光についての質問にも答えられるよう、ガイド並みの知識を備えるため、現在も継続して勉強に励んでいます。

「専門家派遣を申請したい企業にアドバイスは？」

当館の場合、事業承継した私が宿泊に関して心許なかったところに、その分野のエキスパートに来てもらって非常に心強かったのです。コロナ禍のためなかなか思うような行動をとれませんでした。第三者的視点からもらえるアドバイスはたいへん貴重でした。何か未知の分野で新規事業などを計画されているのなら、ぜひ産業支援プラザに相談して、専門家派遣を依頼されるとよいと思います。自社が不得手なこと、未着手の分野をはっきりさせて申請すれば、ぴったりの専門家が来てくれます。

「今後の目標、展望は？」

やはり、せっかく近江牛という素材を主力商品にしていますので、近江牛をもっと打ち出していきたいと思っています。今回、事業再構築補助金を使って

史があります。食肉禁制の時代でしたが、江戸時代後半には薬食いとして食肉が流通していたという記録が残っています。滋養強壮の効果을期待して薬として摂取したようです。昔は冷蔵庫がないので肉を味噌漬けにして保存するとか、冬は寒干しで干し牛肉をつくって江戸の将軍家に届けたという記録もあります。

400坪の日本庭園に面し、四季の自然を楽しむことができる高級料亭旅館



<PROFILE>

株式会社粹屋やす井(株式会社千成亭風土グループ)

■代表者/代表取締役 上田 健一郎

■従業員/30名(2023年9月現在)

■所在地/滋賀県彦根市安清町13-26

■創業/1869年

■事業内容/料亭旅館、飲食店経営

■TEL/0749-22-4670

■URL/https://www.ryoutei-yasui.jp/

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営相談室
☎ 077-511-1413 ☎ 077-511-1418
✉ keiei@shigaplaza.or.jp

*1 専門家派遣事業

中小企業が経営革新・創業等を進める上で、浮上してくる様々な問題を解決するために、民間の専門家等を派遣し、診断・助言を実施する事業

*2 事業再構築補助金

中小企業等の新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大等、事業再構築を支援する補助金



青少年赤十字創設100周年記念「滋賀県青少年赤十字大会」
2022年7月（写真協力：日本赤十字社滋賀県支部）



地場産業産地組合バーチャル展示 動画制作、
同事前打ち合わせの様子
（写真協力：滋賀県中小企業団体中央会）

積したノウハウを生かして、自分だからこそできる、自分しかできない仕事を徹底的にやってみてみたのです。会社勤めできなくなれば、定年などの縛りもなく思いきりチャレンジできると。創業の3年前から税理士に相談し、2020年4月の開業を目指して準備を進めていました。

登録を考えたとき、「創業オフィス」は登記ができる点が魅力で、賃料もリーズナブル。即座に入居審査のための事業計画書をつくり、審査プレゼンをして、めでたく3月に入居が認められ、決まりました。晴れて2020年4月2日開業となったのです。



「未来プロデュース株式会社の
特徴、強みは？」
起業して約3年半、新規取引先、連携先が増えました。「このイベント仕切ってるのは誰ですか」「小森さんです」「うちの式典も小森さんに頼みたい」と仕事が仕事を呼んで、名指しでの依頼が多いのです。

「産業支援プラザとの関わりは？」
先ほど述べたように、創業の4か月ほど前に訪問しました。予約なしでうかがったのに、親身になって対応してくださり、てきぱきと手続きを進めてもらえました。現在は、「コラボし

が21の4階にある「創業オフィス」に入居しています。また、担当アドバイザー自身が起業経営、廃業を経験されており、アドバイスは具体的に、現実味がありました。非常に心強い味方を得たという気持ちになりましたね。



びわ湖大花火大会 2023年8月

「産業支援プラザに期待することとは？」
マネージャーは、おそらく私の本気度を測って、いついつまでにこのアクションを起こせば2月に審査プレゼンを受けることができ、早ければ3月には入居できる可能性があるですよ、という確かなアドバイスをくださったのです。このさじ加減はすごく重要だと思っています。コラボしが21に来ている人みんなに同じ、均等な対応ではなく、その人の起業への真剣さや確かな熱意を酌

「今後の展望は？」
定年リタイアしたシニア層を中心にチームを編成した新事業を計画しています。長年の知識と経験はまだ生かせるはずですから、面白いことができるかと確信しています。また、どんな事業・イベントも県内の事業者と連携し、オール滋賀で臨むことをモットーにしています。県内には優れた技術者、ビジネスパートナーがいくらでもありますから、彼らとともに滋賀を盛り上げていきたいです。

確かな人脈と高い経験値をもって 起業するなら必ずうまくいく。 よい仕事が次の仕事を 連れてくる



未来プロデュース株式会社

代表取締役 **小森 雅典さん**
こもりまさのり

<PROFILE>
未来プロデュース株式会社
■代表者／代表取締役 小森 雅典
■所在地／滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 4階408号室
■創業／2020年4月
■事業内容／プロデューサー・ディレクターが業務統括する制作会社
式典・イベント制作、動画制作・配信、各種手配業務、アドバイザー業務
びわ湖放送広告代理店
■URL／<https://mirai-pro.com/> ※HPからの問合せのみ受付

滋賀県地元の放送局、びわ湖放送に長年勤務し、番組ディレクター、イベントプロデューサーとして腕を振るったのち、満を持して50歳で独立開業に挑んだ小森さん。「未来プロデュース株式会社」は、大小さまざまな式典や講演会、展示会など催事の制作・実施を請け負う。前職の経験と人脈をフル活用し、起業後に得た縁は大事に育んで、次のまた次の仕事へとつないでいる。

「事業内容は？」
催事の編成からチラシなどの印刷・デザインまで、多種多様な制作業務を請け負っています。依頼の内容に応じて必要なメンバーを集めて制作します。催事はたとえば周年式典や受章式典、何かの記念大会など各種ありますが、司会者や出演者、必要なら警備スタッフの手配までトータルな制作を行います。動画の制作や配信も受注しています。制作する動画は、催事内で上映されるものや、研修用動画、動画サイト向けのPR動画など、多岐にわたります。さらに、各種印刷物——名刺やチラシ、ポス

ター、小冊子のデザイン制作も行います。弊社はびわ湖放送の正規広告代理店です。CM制作・放映も請けています。このように、制作できるたいいものは請け負っています。



「なぜ起業しようと思った？」
50歳になったら独立して開業しようと思っていました。地元のびわ湖放送の制作部で番組ディレクターとして17年、営業局でイベントプロデューサーとして10年仕事をしていまして、自分の中に蓄

資金調達だけでなく、
知名度・信用度の向上、
人材確保につながる!

IPOとは？

株式会社東京証券取引所
上場推進部 課長／大阪IPOセンター
小西 敦 さん
に解説していただきました。

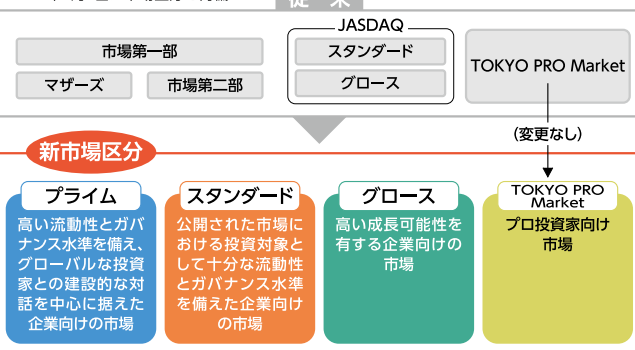
株式市場の種類・上場制度は？

従来の市場は、区分のコンセプトが曖昧で、多くの投資者にとって利便性が低いなどの課題があり、その役割を十分に果たせていない状況でした。

日本経済の持続的成長のためには、上場企業各社の中長期的な企業価値向上と、ベンチャー企業の育成が必要不可欠です。そのため、東証の株式市場は2022年4月に再編され、コンセプトの明快な市場区分になりました。それぞれの新規上場基準・上場維持基準を共通化し、市場区分間の移行に関する基準は設けないこととしています。

■東証の株式市場

2022年4月4日に市場区分を再編



最近のIPO企業の経営規模は？

■最近のIPO企業の規模比較

上段：最大値 中段：中央値 下段：最小値	売上高	経常利益	純資産の額	初値 時価総額	IPO時の ファイナンス 規模注1
プライム	1,170億円 — 650億円	113億円 — 91億円	896億円 — 601億円	1,626億円 — 1,291億円	768億円 — 498億円
スタンダード	750億円 85億円 31億円	24億円 6億円 3億円	133億円 20億円 9億円	442億円 58億円 26億円	43億円 15億円 7億円
グロース	471億円 19億円 4億円	28億円 1億円 ▲1億円	132億円 6億円 0億円	1,443億円 107億円 13億円	374億円 13億円 3億円
TOKYO PRO Market	162億円 26億円 3億円	18億円 2億円 ▲0億円	83億円 6億円 ▲0億円	216億円 20億円 1億円	—

注1:IPO時のファイナンス規模=公募+売出し(OA含む)
なお、TOKYO PRO MarketのIPO時のファイナンス規模は、特定投資家向け取得勧誘または特定投資家向け売付勧誘等を指すが事例なし

国内の上場企業数、約4,000社のうち、プライムに上場しているのは2,000社未満。上場企業と言うと大規模で雲の上のような存在と捉えられがちですが、さまざまな規模の企業が上場を果たしています。経営努力次第で手の届く目標なのです。

滋賀県では2020年、2021年に1社ずつ新規上場があり、県内の上場企業は11社となっています。(2023年7月末現在)

IPO実現のために必要な外部関係者・スケジュール・手順・費用は？

IPOの準備には外部機関の関与が必要になります。一般市場では、主幹事証券会社(上場準備をサポート)、監査法人、株式事務代行機関(上場後の株主管理者。主に信託銀行の提携)。

上場準備として申請直前2期間の監査証明が必要です。手順としては、「IPOするぞ!」と決めた段階で、監査法人のショートレビューで監査契約できる会社が見つかり、事前チェックを受けます。このショートレビューに至るまでに、普段からつぎあいのある金融機関に相談したり検討したりする期間もあるでしょうから、実際には上場までに3〜5年程度かかります。

上場に掛かる費用は、企業の規模(売上高や業態等)により差が出ますので一概には言えません。IPO経営者へのインタビュー結果によると、最多価格帯は4,000万円〜6,000万円でした。6割の経営者が「想定どおり」と答えています。

■上場料金(抜粋)

①新規上場時	プライム	スタンダード	グロース	TPM
上場審査料	400万円	300万円	200万円	—
新規上場料	1,500万円	800万円	100万円	300万円
②年間上場料	プライム	スタンダード	グロース	TPM
上場時価総額				
50億円以下	96万円	72万円	48万円	—
50億円超 250億円以下	168万円	144万円	120万円	—
(中略)				
500億円超	456万円	432万円	408万円	—

上場審査の基準は？

東証の上場審査は、監査法人による会計監査や主幹事証券会社による公開指導、引受審査等を経たのちに実施されます。すでにハードルを幾つも越えたあとですから、上場審査で「不合格」と判断されることは、それほど多くはありません。

上場審査基準は「形式基準」と「実質基準」の二つで構成されます。

形式基準はその名の通り主に定量的な側面を形式的に確認します。

実質基準は、主に定性的な側面(数値化できない部分)を確認します。たとえば、プライム市場上場を希望する企業は、「企業の継続性及び収益性」において「安定的かつ優れた収益基盤を有している」かが問われます。

■形式基準(抜粋)

形式要件(項目)	プライム	スタンダード	グロース
流動性			
株主数	800人以上	400人以上	150人以上
流通株式数	20,000単位以上	2,000単位以上	1,000単位以上
流通株式時価総額	100億円以上	10億円以上	5億円以上
時価総額	250億円以上	—	—
ガバナンス			
流通株式比率	35%以上	25%以上	25%以上
経営成績			
利益の額	最近2年間の経常利益の総額25億円以上	—	—
又は売上高	又は 最近1年間の売上高100億円以上 かつ、 時価総額1,000億円以上	最近1年間の経常利益1億円以上	—
純資産の額	50億円以上	正	—
その他			
事業継続年数	3年以上	3年以上	1年以上
公募の実施	—	—	500単位以上 (時価総額250億円未満の場合)
(参考) ガバナンスコード	全原則適用	全原則適用	基本原則のみ適用

……《IPO経営者の声》……

Q【上場前】に期待していた効果は？

- A 1位 知名度や信用度の向上
2位 人材の確保
3位 資金調達力の向上

Q【上場後】に実感している効果は？

- A 1位 知名度や信用度の向上
2位 人材の確保
3位 社内管理体制の強化

資金調達以外の
メリットの効果を
実感している回答が
多数ありました。



《上場でできてよかった! IPO》

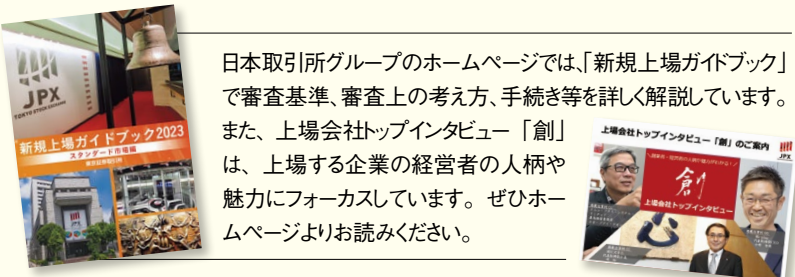
「提携先企業や顧客からの信頼度が高まった」
「大手との取引が増えた」
「求職者の質・量が向上した」
「専門的人材を獲得しやすくなった」
「経営情報を可視化できるようになり、判断を行いやすくなった」
「業務の標準化が進み、事業運営効率が上がった」
「資金調達の方法が多様化することができた」
「間接金融での条件が改善された」

《だから成功した! IPO》

「早い段階から意識して土台を築いた」
「基幹事業の成長を担保し、しっかりしたビジネスモデルを有した」
「経営者自身が揺るぎない決意で臨んだ」
「上場に関して経験豊富な人材を確保した」
「従業員に上場の意義を伝え、理解を促した」
「思いきって不採算事業の整理を実施した」

《こうするべき! IPO》

「上場すると決めたらやり切る強い意志を持って取り組もう」
「事業拡大と社内管理体制の両輪で、経営を安定化させよう」
「主幹事証券会社の選定、また幹事証券会社や監査法人とのコミュニケーションが重要」
「上場は目的やゴールではない。中長期的に会社を成長させるために必要なプロセスということを全社で共有しよう」
「いつか、ではなく、今、チャレンジしよう」



日本取引所グループのホームページでは、「新規上場ガイドブック」で審査基準、審査上の考え方、手続き等を詳しく解説しています。また、上場会社トップインタビュー「創」は、上場する企業の経営者の人柄や魅力にフォーカスしています。ぜひホームページよりお読みください。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課
☎ 077-511-1412 ✉ in@shigaplaza.or.jp

経営支援部 経営相談室
☎ 077-511-1413 ✉ keiei@shigaplaza.or.jp



しがのミカタ

滋賀県のさまざまな中小企業支援機関を紹介する「しがのミカタ」。
今回は、来年開学50周年を迎える
国立大学法人滋賀医科大学を紹介します。

国立大学法人 滋賀医科大学

学長
上本 伸二 さん
うえもと しんじ

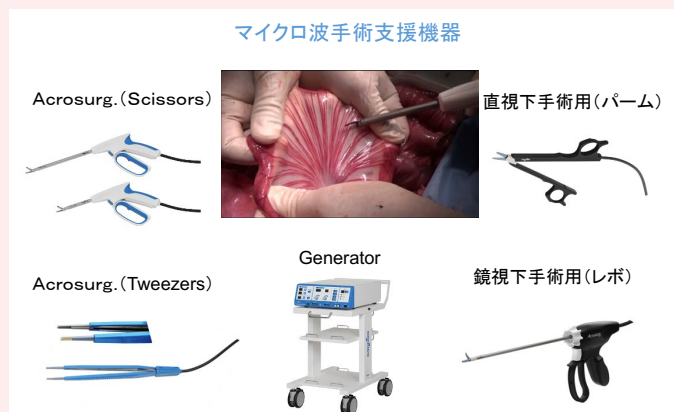
とが重要だと考えています。

― 近年における産学連携事業は？

産学連携とは文字どおり産業と学問との結びつきですから、地域産業の振興につながり、地域貢献の一つの形であると言えます。国からの予算に限りのある現在、産学連携は、大学から見れば、外部資金の獲得というメリットがあります。活発に産学連携による共同研究を行うことは、どの大学にとっても非常に重要です。本学も、医薬品や医療機器メーカーとの共同研究はもはや欠かせません。

― 共同研究の具体例は？

一例ですが、本学の医学部附属病院看護部とニプロ株式会社との共同研究に基づいて、いくつかのアイデアを製品化することに成功しました。実際の医療現場で、看護師たちによる「というのがあったらいいのにな」というニーズを集め、検討を重ねて研究したものです。2015年には「吸引カテーテルホルダー」、2016年には「排液チューブキヤップ」が実現しています。



文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞した「マイクロ波手術支援機器」

2009年からの研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）シリーズ育成タイプ、それに続く2014年には、医工連携に特化した「iKODE（イコード）プログラム」が文部科学省のグローバルアントレプレナー育成促進事業に採択され、複数の大学、企業と共同で研究事業を実施しました。この成果の一例として、A-STEP段階で地元医療機器メーカー・山科精密株式会社の開発協力もあり、直視下手術用マイクロ波機器アフロサージの完成につながりました。今も日機装株式会

社から当製品の販売が続いています。この経験がその後の鏡視下手術用マイクロ波凝固切断器具などの医療機器の開発と製品化につながりました。産学連携によるこの開発は、医療機器分野へのマイクロ波本格導入の先駆けとして高く評価され、当時研究を主導した谷徹特別教授のグループは、2022年4月、文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞しました。

― 今後の展望について
50周年を節目とした目標がいくつかあり、産学連携では共同研究の製品化を掲げています。昨年度までに6点が製品化され、目標達成に向けて着実に成果を上げています。知財関係では、特許収入を6年間で倍にするという目標に対し、4倍もの実績を上げています。
冒頭で述べましたように、優れた医療人の育成が本学の使命で

問い合わせ先
国立大学法人滋賀医科大学 所在地/滋賀県大津市瀬田月輪町
☎ 077-548-2111 URL <https://www.shiga-med.ac.jp>

― 産業支援プラザとの協体制度は？ また、成功事例は？
ちよつと「国立大学法人」になった2004年、文部科学省の公募事業「都市エリア産学官連携促進事業」に応募し採択されたのが最初です。この時の中核機関が産業支援プラザ、参画機関に本学、立命館大学、龍谷大学ほか民間企業が名を連ね、「しが医工連携ものづくりネットワーク」が形成されました。以来、県内はもちろん、県外からも参画企業があり、活発な共同研究が行われてきています。

2009年からの研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）シリーズ育成タイプ、それに続く2014年には、医工連携に特化した「iKODE（イコード）プログラム」が文部科学省のグローバルアントレプレナー育成促進事業に採択され、複数の大学、企業と共同で研究事業を実施しました。この成果の一例として、A-STEP段階で地元医療機器メーカー・山科精密株式会社の開発協力もあり、直視下手術用マイクロ波機器アフロサージの完成につながりました。今も日機装株式会

開学50周年記念事業



同窓会スペースの新設



50周年特設サイトはこちらからご覧いただけます▶



中庭リニューアル



学生食堂リニューアル

開学50周年記念 市民公開講座参加者募集中！

滋賀県内4カ所・計4回開催です。
たくさんのご参加をお待ちしています。
詳細はこちらをご覧ください▶



※完成イメージは計画段階でのイメージのため、今後変更になる可能性があります。

※ iKODE（医学(i)、工学(KO)、デザイン(DE)の組み合わせ）

滋賀医科大学としが医工連携ものづくりネットワークが連携した活動実績を活かし、医療ビジネスのインベーションにつながる起業家を育てるために、発想力を高めるデザイン思考と、医療ビジネスへの取組に必要な知識やネットワーク構築をサポートするグローバルアントレプレナー育成プログラム

地域に支えられ発展したアカデミアは 今、産学連携・医工連携にパワー全開 企業と共存共栄で地域社会に貢献する

1974年に開学した滋賀医科大学。それまで医療過疎地であった滋賀県内に医師と医療機関を増やすため、開学以来、地域に根ざした医師の養成と医学研究に邁進してきました。来年の開学50周年に向けて、地域住民、企業も巻き込んださまざまな記念事業が企画されています。とくに、国立大学法人となって以来注力してきた、産学連携、医工連携の取組について、上本伸二学長にお話を聞きました。



― 開学の経緯は？

1970年代、全国的に医師不足が深刻化し、滋賀県も例外ではありませんでした。国は医科大学、医学部をもたない県に医科大学を創設する方針を打ち出し、滋賀県も強く要望して滋賀医科大学開学に至りました。本学の理念「地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学」にもあるように、医師不足の解消を願う地域の願いがあつて開学されましたので、地域貢献がきわめて重要なわけです。

― 大学の使命は？

滋賀県の医療を責任もって担う医師を育てることが一番のミッションです。

― 具体的には、どのように医師を育成している？

地域医療の担い手であること、我々が一番の教育方針として掲げています。地域医療とは開業医のことだけではありません。医師という職業には、地域の医療を守るためのいろいろな立場があります。本学ではその点をしっかりとらえて、規模の大小にかかわらず県内の病院、診療所、コミュニティ施設、訪問看護ステーションなどで研鑽を積むことを奨励しています。20代の早い段階から地域住民に近い現場で医療行為の実践を学び、患者さんが主役であることを肝に銘じる。若いうちに経験するこ

シヨンです。地域医療を充実させるためには、多くの優れた医師が必要です。同様に看護師も大切なので、1994年には看護学科を開設しました。その結果、1974年に約1000人だった滋賀県内の医師の数は、現在では約3300人を数えるに至りました。滋賀県内に多くの卒業生をリクルートし、地域医療の担い手として教育・指導することが、次に重要な使命です。

しが産業生産性向上経営改善センターの取組

しが産業生産性向上経営改善センター
Multi-Industry Management Improvement Center for productivity

人材育成で現場力最大化! スマートものづくりに向けた人材を育成し改善を継続させる生産性の高い強くよい現場づくりを支援します。

経営者・幹部層向け講座 (2日間コース)

生産プロセス改革等を牽引する日、生産性向上を意識した経営マインドを醸成し、IoT 時代におけるビジネス構想や、デザイン思考を活用した新規事業など、経営環境の変化に対応できる経営者を目指し、学びの場を提供します。

開催日:11月8日(水)、11月22日(水) 場所:コラボしが21

費用:ひとり2.2万円(税込) 募集期間:9月15日(金)~10月20日(金)

出前人材育成講座 (随時)

企業ニーズに応じた改善手法やIoTの基礎等を事業所内で学び、時流にマッチした生産性向上に向けた若手人材を育成するために、経験豊富なインストラクターを派遣します。

<標準> 1講座:3時間x3回、費用:11万円(税込)

現場管理者向け講座 (8日間コース)

スマートものづくりに向けた改善活動を自主的に推進する「生産性の高い現場をつくる」リーダーを育成します。

開催日:9月、10月、11月、12月のうち8日間 場所:コラボしが21

※募集は終了しています。

生産性向上 web 配信スクール事業 (動画)

生産性向上ミニスクールなどの講義簡易版 (動画) を産業支援プラザのホームページで公開します。(視聴無料)

6講座(1講座:約10分) <https://www.shigaplaza.or.jp/mmic/#doga>

問い合わせ先 しが産業生産性向上経営改善センター ☎ 077-511-1423 ✉ mmic@shigaplaza.or.jp

2023年10月下旬~2024年3月

イベント&セミナー案内

掲載内容は予定ですので変更になる場合があります。詳細は、産業支援プラザのホームページまたはメールマガジンをご確認ください。メールマガジンのお申し込みはこちらから▶



開催予定日	イベント・セミナー名/会場	概要/対象	担当課
2023年10月24日(火)	滋賀医科大学開学50周年記念 産学連携フォーラム (主催:滋賀医科大学 協力:滋賀県産業支援プラザ) ◆会場:コラボしが21	滋賀医科大学の開学 50 周年を記念して、医工連携による医療機器開発の成果事例の紹介と、同大学関係者との交流の場を提供します。	イノベーション推進課
10月28日(土) 12月 2日(土)	チャレンジオンラインマルシェ ◆会場:オンラインバーチャルオフィス「oVice」	出店塾でオンラインマルシェ出店のノウハウを学んだ塾生が、出店に挑戦します。ぜひこの機会にオンラインマルシェを体験してください。	創業支援課
11月16日(木)	株式上場をめざすためのキックオフセミナー ◆会場:コラボしが21	株式上場の傾向や現状について分かりやすく説明します。また体験談もお聞かせいただけます。 ◆対象:創業・起業して間もない方から中小企業まで	創業支援課
11月29日(水)	オープンイノベーション事例講演会 ◆会場:コラボしが21	身体的負担の軽減を図るアシストスーツの開発事例の紹介を通じて、オープンイノベーションによる新技術や新製品の創出について学びます。 ◆対象:新しい事業分野への挑戦を検討されている方	イノベーション推進課
11月29日(水)	価格交渉・価格転嫁対策セミナー ◆会場:滋賀中央信用金庫 彦根本部	原材料価格やエネルギー費などのコストが上昇する中、価格交渉・価格転嫁に関わる対策セミナーを開催します。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	販路開拓課
11月29日(水)	出張相談会in彦根 ◆会場:滋賀中央信用金庫 彦根本部	新たにビジネスをお考えの方、企業経営でお悩みの方のための相談会を開催します。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	経営相談室
11月30日(木)	第1回医療機器開発セミナー ◆会場:滋賀医科大学附属病院	新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象とした、実践的な知識を学ぶセミナーです。(テーマ:薬剤部業務の紹介と薬剤業務の見学) ◆対象:「しがオープンイノベーションフォーラム」会員	イノベーション推進課
12月4日(月)	ミカタプロジェクト第2回セミナー ◆会場:コラボしが21	電動化により益々軽量化が求められる自動車部品。鉄、アルミ、樹脂それぞれの素材メーカーの取組と、軽量化の最新動向について理解を深めるセミナーです。 ◆対象:自動車部品のサプライヤー、EV 関連市場等への参入を検討している中小企業等	イノベーション推進課
[対面]12月 6日(水) [オンライン]12月 7日(木) ~13日(水)	岐阜・滋賀・三重「モノづくり商談会 in GIFU」 ◆会場:大垣フォーラムホテル	県内中小企業の今後の受注機会拡大と新規取引先開拓を図るため、県内外の発注企業との新規取引のきっかけづくりとして、商談会を開催します。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	販路開拓課
12月7日(木)	プロ人材活用セミナー ◆会場:コラボしが21	3部構成(講演2部、パネルディスカッション)で開催します。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	プロ人材拠点
2024年2月 8日(木)	第2回オープンイノベーション推進シンポジウム ◆会場:コラボしが21	オープンイノベーションを通じて新技術や新製品の開発をリードする企業や講師により、企業のイノベーションを後押しする講演会です。 ◆対象:新しい事業分野への挑戦を検討されている方	イノベーション推進課
[対面]2月15日(木)、16日(金) [オンライン]2月 1日(木)~2日(金)、 5日(月)~8日(木)	関西・四国合同広域商談会 ◆会場:京都パルスプラザ	発注企業と関西・四国・鳥取県の 11 府県の中小企業との新規取引を促進するため、商談会を開催します。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	販路開拓課
2月27日(火)	副業人材活用セミナー&相談会 ◆会場:コラボしが21	都市部大手企業人材の副業事例紹介&個別相談会を行います。 ◆対象:滋賀県内の中小企業等	プロ人材拠点

公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

(公財) 滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21(2階)

TEL:077-511-1410(代表) FAX:077-511-1418(共通)

[E-mail]info@shigaplaza.or.jp [URL]<https://www.shigaplaza.or.jp>

■JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分

■京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分(JR膳所駅、JR石山駅乗り換え)

